

北原山雨水排水整備事業

[484]

事業の位置づけ

公共下水道事業会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	35-0101	実施計画	対象
施策	05	雨水対策・河川整備の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	排水施設の整備・維持管理	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	北原山土地区画整理事業区域の住民をはじめ、対象排水区内の住民	北原山土地区画整理事業に合わせ雨水排水施設の整備を行なう。 (整備の対象となる雨水排水施設の口径) 鳴湫排水区... 800以上 東大道排水区... 600以上 三葉川排水区... 700以上
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	平成17年6月 北原山土地区画整理組合の仮換地指定(区画整理事業の着手) 平成17年度 鳴湫雨水幹線における実施設計委託業務の実施 平成18年度 鳴湫雨水幹線整備工事の着手 平成21年度 鳴湫雨水幹線以外の雨水排水施設における実施設計委託業務の実施 平成22年度 鳴湫雨水幹線以外の北原山地区内雨水管渠布設工事の着手 令和2年度 鳴湫雨水幹線未整備区間の工事を実施 予算措置については下水道課にて計上する。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 雨水排水施設の整備延長(m)	m	206	50	422	191
	B 雨水幹線の整備延長(m)	m	0		99	99
成果指標	C 北原山地区内の雨水排水施設整備率(%)	%	72	73	83	86
	D 北原山地区内の雨水排水施設整備済延長(のべ延長)(m)	m	3,429	3,470	3,898	3,760
事業費 計			23,693	8,745	180,000	135,329
財源内訳		ア 国	10,320	3,490	65,000	65,000
		イ 県				
		ウ 地方債	12,000	4,700	106,000	63,500
		エ その他				
		オ 一般	1,373	555	9,000	6,829

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 なし	北原山区画整理事業に合わせて雨水排水整備を進めており、令和2年度に鳴湫雨水幹線の整備を完了した。 その他の雨水排水施設についても道路築造に併せて整備を行った。
--------	----------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	鳴湫雨水幹線の未整備区間解消に向けた取り組みを進めます。		
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
鳴湫雨水幹線の整備を完了した。			

浸水対策事業

[1072]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	35-0102	実施計画	対象
施策	05	雨水対策・河川整備の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	排水施設の整備・維持管理	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	大雨時に浸水の恐れのある地区 大雨時に浸水の不安を感じる住民	大雨時に道路が冠水し、浸水の恐れがある地区住民が、安心して生活できるようにするため、排水施設を整備する。 ・大雨時に土木管理課が土のうを運んだり、苦情の多い地区を記録する。 ・浸水の恐れがある原因を調査し、適正な対策を検討する。 ・優先順位を決め、計画年次に合わせ予算要望をし、工事を発注する。 平成19～24年度 霞ヶ丘町中外11カ所施工 平成25年度 南原山町南原山施工、柏井町弥栄施工 平成26年度 平子町長池上施工 平成27年度 南原山町赤土、平子町長池上施工 平成28年度 新居町今池下設計 平成29年度 北山町北山、南原山町赤土施工 平成30年度 新居町今池下施工 令和元年度 南原山町設計 【平成25年度、基本事業成果指標の変更】道路冠水箇所数：19箇所(平成24年度末)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

浸水被害がなくなり、大雨時でも安心して生活できるようになっている

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A 浸水対策実施箇所数	箇所	1	0	1	1
	B 道路冠水解消箇所数	箇所	1	0	1	0
成果指標	C 浸水対策が必要な道路冠水箇所の残数	箇所	13	13	12	13
	D					
事業費 計			6,245	2,365	70,000	13,989
財源内訳		ア 国			20,000	5,000
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	6,245	2,365	50,000

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 一部遅延あり 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 なし	(状況) 浸水対策が必要な道路冠水箇所の残数は変化なし。 (原因) 予定していた浸水対策工事が実施できない区間が生じたため。
--------	-----------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	計画的に浸水対策を行います。		
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

南原山地区の浸水対策工事を実施しました。

排水施設維持補修事業

[486]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業 コード	35-0103	実施 計画	対象
施策	05	雨水対策・河川整備の推進	評価区分	通常評価	総合 戦略	
基本事業	01	排水施設の整備・維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業 目的 と 概要 (02 年度 分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市の管理する河川・水路等	市民からの通報及び日常パトロールにより発見された水路等の破損箇所に対し、適切な補修(工事)を行う。 ・材料を購入し、市作業員により補修する。 ・請負業者により補修する。 市民からの通報及び日常パトロールにより発見された水路等の流れが悪い箇所に対し、浚渫・除草を行う。 ・市作業員により浚渫する。 ・請負業者により浚渫する。 H20年度に産業課から所管がえを受けた山の田池の維持管理にかかる事業と水路維持補修事業を合わせ、H21年度から排水施設維持補修事業とした。 北山町の雨水排水能力不足の原因である、石原川的能力不足を解消するため、H28年度に基本設計、H29年度に詳細設計、H30年度からR2年度まで河川改修工事を施工し完了した。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動 指標	A 維持補修を実施した総延長	m	2,545	2,811	2,500	2,596	
	B 維持補修を実施した件数	件	28	26	20	21	
成果 指標	C 河川・水路に関する苦情要望数	件	13	20	20	21	
	D						
事業費 計			80,944	136,516	206,600	202,965	
財源内訳		ア 国					
		イ 県	千円	23,100	43,300	63,200	52,788
		ウ 地方債			86,600	136,700	136,700
		エ その他		50,000			
		オ 一般		7,844	6,616	6,700	13,477

R02年度実績の評価

成果 実績 評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	(状況) 河川・水路に関する苦情要望数が昨年度実績と比べ5.0%低下している。 (原因) 苦情要望に対し適切に対応しているため
----------------	--------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------

R02年度実施取組方針の実績評価

実施 取組 方針 実績 評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	北山地区の排水状況の改善に向け、石原川の改修工事を行います。		
実施 取組 方針 実績 評価	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	石原川の改修工事が完了しました。		

老朽側溝補修事業

[487]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	35-0104	実施計画	
施策	05	雨水対策・河川整備の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	排水施設の整備・維持管理	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市の管理する道路延長	側溝築造後、長期間経過している側溝のうち、目地切れや、沈下による勾配不良等の状態にある側溝を補修する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
悪臭発生の原因である生活雑排水が堆積しないように側溝の流れが良くなっている		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 側溝補修延長	m	89	84	180	115	
	B 側溝補修工事件数	件	4	3	2	1	
成果指標	C 側溝補修延長累計	m	4,950	5,034	5,310	5,149	
	D 側溝破損に関する苦情要望数	件	77	79	30	58	
事業費 計			4,951	4,969	5,000	4,990	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	4,951	4,969	5,000	4,990

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)側溝補修延長累計は前年度実績と比べ2.3%上昇している。また、側溝破損に関する苦情要望数は26.6%低下している。 (原因)これまで着実に進めてきた側溝補修の成果によるものと考えられる。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)	
	【成果向上余地】 余地が中程度	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	側溝の補修要望に対しては、優先順位をつけ、計画的に補修していきます。		
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	他事業と同調した補修を行うことで整備効果を高めることができた。		